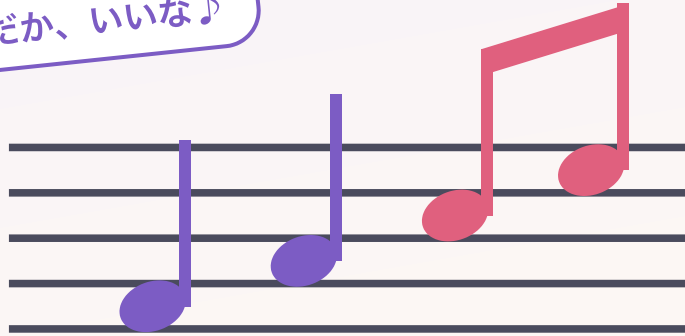


なんだか、いいな♪



言葉にしてみよう！

感想を言葉にする

感じたことを、自分の言葉にしてみよう



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

感想の入り口	3～5
ことばを増やす	6～12
感想を書く	13～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

感想を言葉にする大切さ

感じたことを言葉にすると、音楽がもっと自分のものになります。

音楽を聴いたときの気持ちは、言葉にしてはじめて、はっきりとした形になります。

「なんとなく好き」で終わらず、どこがどう良かったのかを言葉にすると、その音楽との出会いがより深く心に残ります。人に伝えることもできるようになります。



感想を言葉にすると

自分の好みがわかる

人に伝えられる

もう一度聴きたくなる

ちがいに気づける

うまい文章である必要はありません。自分の感じたままを言葉にすることが大切です。

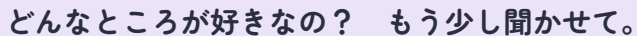
ポイント

- 「良かった」だけでなく、「どこが」「なぜ」良かったかまで考えてみましょう。
- 感想を書く力は、音楽だけでなく、いろいろな場面で役立ちます。

やってみよう

1. 最近聴いた音楽で、心に残ったものを1つ書いてみよう。

書いて覚えよう



- 「好き」の理由を考えると、自分がどんな音楽を求めているかが見えてきます。
- 「きらい」だと感じた理由にも、気づきがかくれていることがあります。
- 好き・きらいの理由を考える習慣が、感想を言葉にする第一歩です。

1. 好きな曲の「好きな理由」を、1つでいいので書いてみよう。

高くすんだ音の輝くような響き

低くて重みのある響き

軽やかで流れるような響き

はっきりとかたい響き

やわらかく広がる響き

細かくふるえるような響き

- 音を表すことば（オノマトペ）を使うと、感じたイメージが伝わりやすくなります。
- 1つの音に、いくつのことばが当てはまるか考えるのも楽しい練習です。

1. 好きな曲の音を、上のことばの中から1つえらんで表してみよう。

楽器や声の音色には、いろいろな表現があります。

warm tone

やわらかく、人をつつむような音

sharp tone

はっきりとつき刺さるような音

- 同じ楽器でも、弾き方によって音色の印象は大きく変わります。
- 「明るい・暗い」「重い・軽い」なども、音色を表すよく使われることばです。

1. 自分の声の音色を、ことばで表してみよう。

速さのちがいを、ことばで細かく表してみましょう。

7

強弱を表すことば

音の大きい・小さいにも、いろいろな表し方があります。

力強い

powerful

はっきりと押し出すような大きな音

ささやくよう

whisper-like

小さく、そっと語りかけるような音

ポイント

- 「だんだん大きく」「急に小さく」など、変化の仕方もことばにできます。
- 強弱の変化に注目すると、曲の盛り上がりどころがを見つけやすくなります。

やってみよう

1. 好きな曲の中で、いちばん強弱の変化を感じた場所を書こう。

書いて覚えよう

音楽から受け取った気持ちも、ことばにしてみましょう。

これから何かが起こりそうな期待感

悲しさとなつかしさが混じった気持ち

昔を思い出すような気持ち

気持ちが落ち着き、安らぐ気持ち

元気やがんばる気持ちが出てくる

何とも言えない不思議な気持ち

- 同じ曲でも、聴く人や聴くタイミングによって感じる気持ちは変わります。
- 気持ちを表すことばをたくさん知っておくと、感想が書きやすくなります。

1. 今日聴いた音楽で感じた気持ちを、上から1つえらぼう。

音楽を景色にたとえ、そう感じた理由もセットで書いてみましょう。

- 「まるで～のような」とたとえると、感じたことがぐっと伝わりやすくなります。
- たとえたあとは、「なぜそう感じたか」を音楽のしくみと結びつけて考えましょう。
- 「速さ」「強弱」「音色」など、理由をしくみで説明すると感想に説得力が出ます。



たしかに、だんだん音が増えていくからかもしれないね。

1. 好きな曲を「まるで～のような」でたとえ、理由も書いてみよう。

感じたこと

[[_ _]]

[[_ _]]

感じたこと

[[_ _]]

[[_ _]]

- 「Aは～だけど、Bは～」という書き方をすると、感想がより具体的になります。
- 似ている曲どうしを比べると、細かいちがいに気づきやすくなります。

1. 好きな曲を2つ選んで、表を完成させよう。

書いて覚えよう

旋律の動きが心に残ったとき

リズムが心地よく体に合うとき

- 「メロディ」「リズム」「ハーモニー」などのことばを使うと、感想が伝わりやすくなります。
- むずかしい用語を全部使う必要はなく、知っていることばから少しずつ増やせば十分です。

1. 音楽用語を1つ使って、感想を1文書いてみよう。

12

structure

①何を聴いたか ②感じたこと ③理由 ④まとめ、の順で書く

- いきなり全部書こうとせず、この4つの順に少しずつ埋めていきましょう。
- 理由の部分に、音楽のしくみ（速さ・強弱・音色など）を入れると説得力が増します。

1. ①～④の項目を、短くてよいので1つずつ書いてみよう。

短い感想を書く

まずは、1~2文の短い感想から始めてみましょう。

短い感想を1~2文で書こう

この曲は、～な感じがしました。とくに～のところが心に残りました。

ポイント

- 長く書けなくても大丈夫。短くても、自分の言葉であることが大切です。
- 短い感想を積み重ねることが、長い感想を書く力にもつながります。

書いて覚えよう

①この曲は、～な感じがしました。②とくに、～のところが印象に残りました。③それは、～だからです。④まるで～のような気持ちになりました。

=====

=====

=====

=====

- 短い感想の文に「理由」や「たとえ」を1つずつ足していくと、自然に長くなります。
- 書き終えたら、声に出して読み直すと、伝わりやすい文か確認できます。

感想を発表する

書いた感想を、声に出して人に伝えてみましょう。

ポイント

- ゆっくり、はっきりとした声で伝えると、気持ちが届きやすくなります。
- 聞いている人の顔を見ながら話すと、より伝わりやすくなります。
- うまく話せなくても、自分の言葉で伝えようとする姿勢がいちばん大切です。

やってみよう

1. 書いた感想を、家族か友だちに声に出して伝えてみよう。

ワンポイント 緊張するときは、いちばん伝えたい文だけ決めておくとしやすくなります。

書いて覚えよう



ぼくはこの曲、悲しい感じがしたよ。



そうなんだ。わたしはむしろ、静かで落ち着く感じがしたよ。

- 同じ曲でも、人によって感じ方がちがうのはとても自然なことです。
- 「なるほど、そういう感じ方もあるんだ」と受け止める姿勢を大切にしましょう。

1. 友だちや家族に感想を聞いて、自分とのちがいを書こう。

- 正解はひとつではなく、感じ方がちがうこと自体が音楽の豊かさです。
- ちがう感想を聞くことで、同じ曲をもう一度ちがう耳で聴きたくなることもあります。
- 感想を出し合うことで、音楽についての会話がより楽しくなります。

1. 自分と正反対の感想を聞いたとしたら、どう思いますか。

感想ノートの続け方・感想から次の音楽へ

感想を書き続けると、次に聴きたい音楽も見えてきます。

日づけ

聴いた音楽

感じたことば

理由

次に聴きたい音楽

Ken の例

日づけ 9月20日／聴いた音楽 好きな一曲／感じたことば 力強い／理由 サビでリズムが変わるから
／次に聴きたい音楽 似た雰囲気の別の曲

ポイント

- 1日1曲、短くてよいので書き続けると、自分の好みがはっきり見えてきます。
- 書いた感想を読み返すと、「次はこんな音楽を聴いてみたい」という発見があります。

書いて覚えよう

20

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

感想を声に出して伝え合う練習をしよう。

A (感想を言う) この曲は、～な感じがしたよ。

B (理由を聞く) どうしてそう感じたの？

A (理由を言う) それはね、～だからだよ。

B (自分の感想) わたしは、 _____

A (理由を聞く) どうしてそう感じたの？

B (理由を言う) _____

ポイント

- 感想を言う役と、理由を聞き出す役に分かれて練習する遊びです。
- 「どうして？」と聞かれることで、理由をより深く考えるきっかけになります。

ワンポイント 理由をたずねられたときに困ったら、「速さ・強弱・音色」のどれかにあてはめて考えてみましょう。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

うまく言葉にできなくても、コツをつかめば書きやすくなります。

つまずき

よくあること

「良かった」しか出てこない

理由が思いつかない

書くのが苦手

何から書けばいいかわからない

コツ

こうしてみよう

ことば一覧から選んでみる

自分で考えすぎない

①～④の順で1つずつ埋める

組み立てにそって書く

ポイント

- ことばが思いつかないときは、この教材のことば一覧を見返しましょう。
- 「うまく書こう」とせず、まず思ったことをそのまま書き出すことから始めましょう。

やってみよう

1. 「良かった」以外のことばで、好きな曲を表してみよう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

音を表す

☐ オノマトペ

きらきら・ずしんなど音を表すことば

☐ 音色

楽器や声の音の性質

音楽の要素

☐ 速さ

テンポのこと

☐ 強弱

音の大きさの変化

書き方

☐ 感想文の組み立て

何を聴いたか・感じたこと・理由・まとめ

☐ たとえ

「まるで～のような」という表し方

伝え方

☐ 発表

声に出して人に伝えること

☐ 感想ノート

感想を書きためていくノート

ワンポイント 覚えたことばに✓をつけよう。ことばが増えるほど、感想が豊かになります。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|----------|---|--------------------------|
| オノマトペ | ● | ● ア. 楽器や声の音の性質 |
| 音色 | ● | ● イ. きらきら・ずしんなど音を表すことば |
| たとえ | ● | ● ウ. 感想を書きためていくノート |
| 感想ノート | ● | ● エ. 何を聴いたか・感じたこと・理由・まとめ |
| 感想文の組み立て | ● | ● オ. 「まるで～のような」という表し方 |

2. 感想文の組み立てを4つ書こう

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 音を表すことば → (オノマトペ / コード進行)
2. 「まるで～のような」という表し方 → (たとえ / 用語)

書いて覚えよう

ふり返しチェック

できるようになったことを確かめよう。

- | | |
|--|----------|
| ☐ 音を表すことばを3つ以上言える | ことばの引き出し |
| ☐ 感想文の組み立てを説明できる | 組み立ての理解 |
| ☐ 感想に理由を1つつけて書けた | 理由を書く力 |
| ☐ 感想を声に出して伝えた | 発表の経験 |
| ☐ 友だちの感想を聞いた | 聞く経験 |

ポイント

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページにもどってみましょう。
- 全部できなくても大丈夫。少しずつ増やしていけば十分です。

書いて覚えよう

今日聴きたい音楽を、ことばで表して
みる

聞こえた音をオノマトペで表す

友だちに好きな曲の理由を話してみる

1日で聴いた音楽の感想を1文書く

感想ノートに1行書く

家族に感想を発表してみる

ポイント

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。
- 短い一文からでよいので、毎日書き続けることを大切にしましょう。

書いて覚えよう

発表してみよう・感想を書こう

この教材で身につけたことばで、感想を仕上げてみよう。

曲名

感じたことば

理由

たとえ

聴いてほしい人

Emma の例

曲名 好きな一曲／感じたことば おだやか／理由 ゆっくりしたテンポだから／たとえ まるで朝の光のような／聴いてほしい人 落ち着きたい友だち

感想を4文で書こう

①この曲は、～な感じがしました。②とくに、～のところが印象に残りました。③それは、～だからです。④まるで～のような気持ちになりました。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

感想を言葉にする力は、これからもずっと育っていきます。

もっと知りたい人へ

本で

音楽評やエッセイを読んでもみる

友だちと

感想を話し合う時間をつくる

ノートで

感想を書きためていく

次のステップ

日本の伝統音楽

新しいジャンルに感想を広げる

ことば

表現のレパートリーを増やす

発表

人前で話す機会を増やす

ポイント

- この教材の次は「日本の伝統音楽」。新しい音楽に、今日身につけたことばを使ってみましょう。

書いて覚えよう

感想を言葉にするチャレンジ

教室の外でも、感想を言葉にすることはすぐにできます。

聴こう

はじめて聴く曲を1つ選ぶ

感じよう

感じたことばを3つ書き出す

伝えよう

理由をつけて、だれかに話してみる

こたえ

L26 オノマトペ→イ 音色→ア たとえ→オ 感想ノート→ウ 感想文の組み立て→エ 2. 何を聴いたか / 感じたこと / 理由 / まとめ 3. オノマトペ / たとえ

L33 (例) 感想を言葉にすると、音楽との出会いがより深く心に残り、人にも伝えられる。

書いて覚えよう

感想を言葉にする (Season 6 | No.60)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。